



大垣市都市再生整備計画 事後評価委員会資料

平成29年11月29日(水)

大垣市企画部地域創生戦略課





1 都市再生整備計画事業とは



(1) 目的

地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施し、都市の再生を効率的に推進することにより、住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的とする。

(2) 交付金の対象事業

基幹事業

- まちづくりに必要な施設等の整備の実施
 - 道路
 - 公園
 - 地域生活基盤施設
 - 高質空間形成施設 など

提案事業

- 市町村の提案に基づき、地域の創意工夫を活かしたハード事業やまちに魅力と潤いをもたらすソフト事業の実施
 - 各種調査
 - まちづくりPR活動の実施
 - 空き店舗改修 など



(3) 事業の流れ

まちづくりの目標やその実現に向けた事業などを記載した計画を作成し、まちづくりに取り組む。

交付期間終了年度に、目標の達成状況などについて検証し、その結果を今後のまちづくりに活かす。

Plan

まちづくりの課題の分析・目標設定
都市再生整備計画の作成

Do

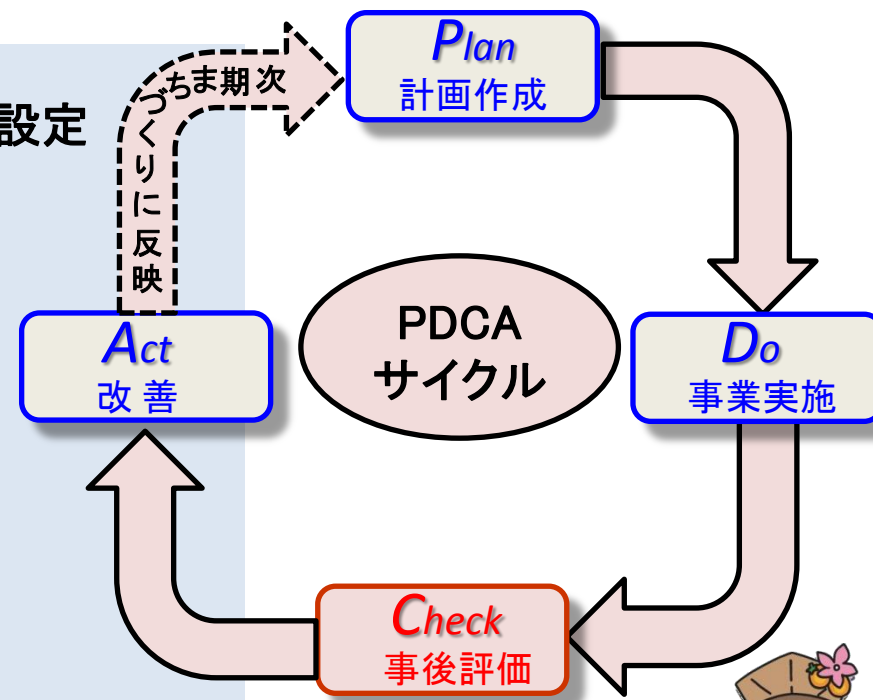
事業の実施
(期間は概ね3～5年)

Check

事後評価
(成果の達成状況等の検証)

Act

今後のまちづくり方策の作成
改善策の実施



(4) 事後評価の目的

都市再生整備計画事業の成果等を客観的に検証し、今後のまちづくりのあり方を検討すること及び事業の成果を住民に分かりやすく説明することを目的とする。

(5) 大垣市都市再生整備計画事後評価委員会

大垣市都市再生整備計画事後評価委員会において、都市再生整備計画事業の事後評価が適切に遂行されたかどうかを審議する。

- ① 市が実施した事後評価の手続き等の妥当性を審議
- ② 今後のまちづくりについての妥当性を審議





2 大垣駅周辺地区 都市再生整備計画の概要



(1) 計画策定時におけるまちの課題

① 中心市街地の拠点性の低下

- 近年の車社会の進展、大型商業施設の郊外立地などによる中心市街地の拠点性の低下
- ⇒シンボリックな拠点である奥の細道むすびの地記念館を中心とした奥の細道むすびの地周辺及び中心市街地との導線や自転車駐車場などを整備し、回遊性をより一層高める必要がある。

② まちの賑わいの再生

- 人々が集い交流する場の創出
- ⇒公園や広場を整備するとともに、既存施設との連携強化・利活用を図ることにより、人々が集い交流する場を提供する必要がある。
- 来街者の更なる増加
- ⇒歴史的・文化的遺産など、本市の特色を生かした魅力的な公共空間の創出と風情ある都市景観の形成の更なる促進を図る必要がある。



(2) まちづくりの目標

目標

大目標: 大垣駅周辺の賑わいと憩いの創出

目標1: 賑わいと活力ある中心地の再生

目標2: 中心地の交流と憩いの場づくり

目標3: 歴史的資源を活用した観光まちづくり

目標を定量化(事業効果を測定)する指標

- ① 駅周辺利便性満足度
H25年度 18% → H29年度 40%
- ② 歩行者及び自転車通行量
H25年度 9,747人/日 → H29年度 9,880人/日
- ③ 地区内公園の利便性満足度
H25年度 24% → H29年度 40%

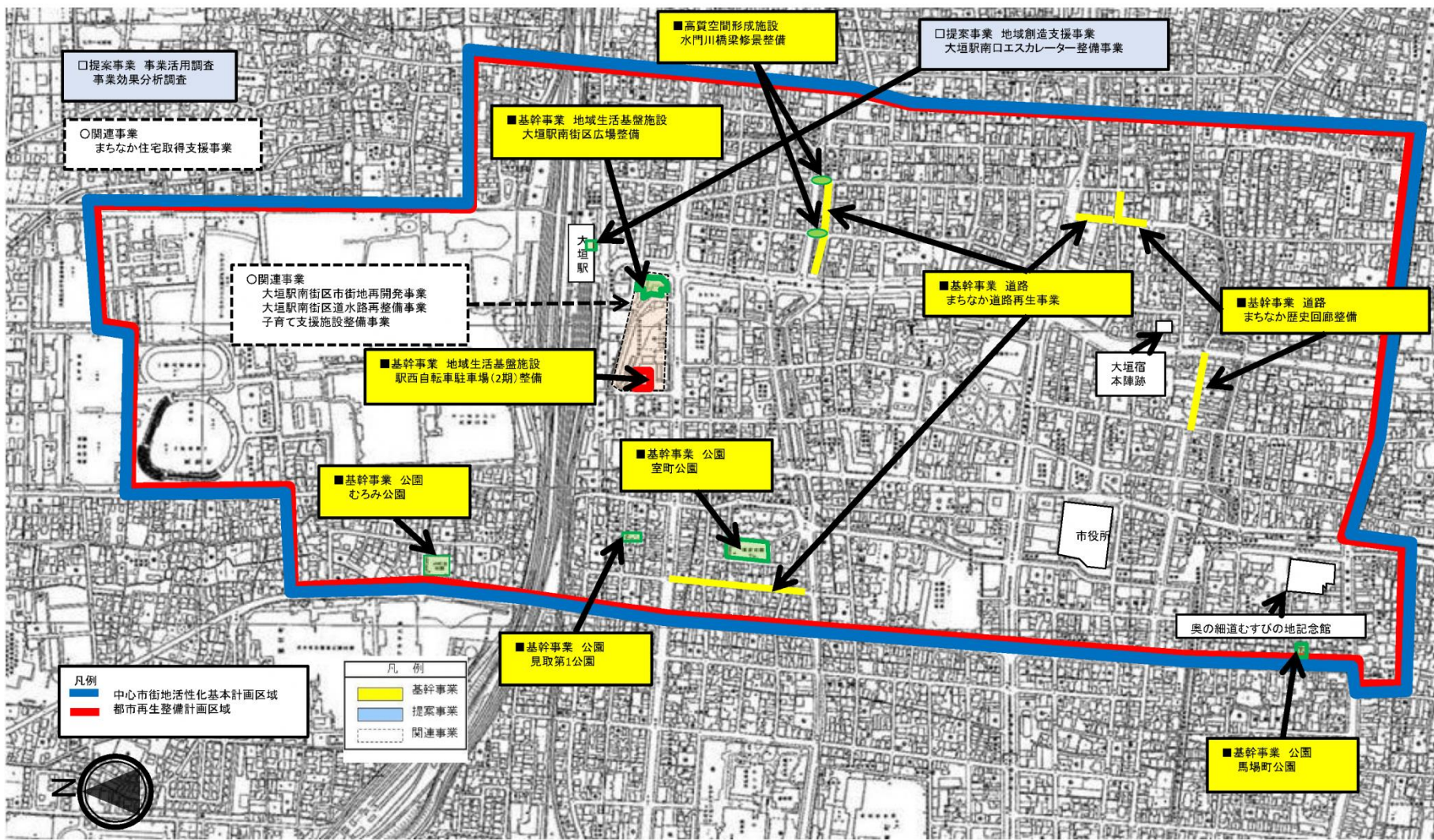


(3) 実施事業一覧

事業区分		事業名	実施年度	補助対象事業費 (百万円)
基幹事業	道路	まちなか歴史回廊整備	H26年度	46
		まちなか道路再生事業	H27～29年度	61
	公園	見取第1公園	H26年度	3
		むろみ公園	H26～27年度	55
		馬場町公園	H28年度	3
		室町公園	H28年度	8
	地域生活基盤施設	大垣駅南街区広場整備	H28～29年度	362
		駅西自転車駐車場(2期)整備	H28年度	140
	高質空間形成施設	水門川橋梁修景整備	H28年度	3
	事業提案	地域創造支援事業	大垣駅南口エスカレーター一整備事業	H28年度
事業活用調査		事業効果分析調査	H29年度	4
合 計				750



(4) 事業の実施箇所



(5)ー① 個別事業の概要

基幹事業(道路):まちなか歴史回廊整備

<事業内容>

L=206m

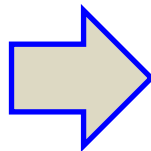
側溝工、カラー舗装 等

<事業スケジュール>

平成26年度



【整備前】



【整備後】



(5)ー② 個別事業の概要

基幹事業(道路):まちなか道路再生事業

<事業内容>

L=437.5m

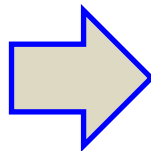
側溝工、排水性舗装 等

<事業スケジュール>

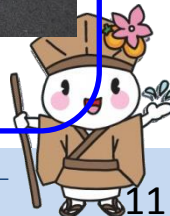
平成27年度～29年度



【整備前】



【整備後】



(5)－③ 個別事業の概要

基幹事業(公園):見取第1公園

<事業内容>

A=345m²

広場整備(砂舗装)、
遊戯施設(ブランコ1基、すべり台1
基) 等

<事業スケジュール>

平成26年度



【整備前】



【整備後】



(5)－④ 個別事業の概要

基幹事業(公園):むろみ公園

<事業内容>

A=1,530m²

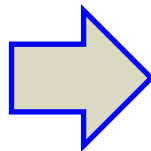
植栽、広場整備(砂舗装)、
トイレ設置1基、乗入橋1基 等

<事業スケジュール>

平成26年度～27年度



【整備前】



【整備後】



(5)－⑤ 個別事業の概要

基幹事業(公園):馬場町公園

<事業内容>

A=561m²

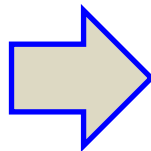
広場整備(砂舗装)、
遊戯施設(すべり台1基) 等

<事業スケジュール>

平成28年度



【整備前】



【整備後】



(5)ー⑥ 個別事業の概要

基幹事業(公園):室町公園

<事業内容>

A=2,689m²

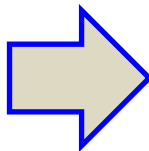
広場整備(砂舗装)、
修景施設(水飲み場1基) 等

<事業スケジュール>

平成28年度



【整備前】



【整備後】



(5)ー⑦ 個別事業の概要

基幹事業(地域生活基盤施設) : 大垣駅南街区広場整備

<事業内容>

A=1.142.24㎡

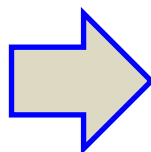
用地取得、園路整備工、
植栽工、井戸噴水設備工 等

<事業スケジュール>

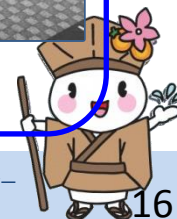
平成28年度～29年度



【整備前】



【整備後】



(5)－⑧ 個別事業の概要

基幹事業(地域生活基盤施設)：駅西自転車駐車場(2期)整備

<事業内容>

A=702m²

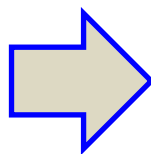
自転車駐車場整備(613台)

<事業スケジュール>

平成28年度



【整備前】



【整備後】



(5)－⑨ 個別事業の概要

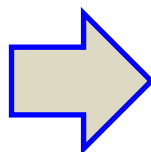
基幹事業(高質空間形成施設) : 水門川橋梁修景整備

＜事業内容＞
2橋梁4箇所
植栽

＜事業スケジュール＞
平成28年度



【整備前】



【整備後】



(5)－⑩ 個別事業の概要

提案事業(地域創造支援事業) : 大垣駅南口エスカレーター一整備事業

<事業内容>

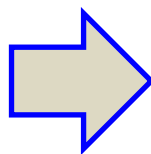
降りエスカレーター一新設1基

<事業スケジュール>

平成28年度



【整備前】



【整備後】



(5)－⑪ 個別事業の概要

提案事業(事業活用調査) : 事業効果分析調査

<事業内容>

事業効果を調査・分析し、都市再生整備計画の事後評価に活用する。

<事業スケジュール>

平成29年度





3 事後評価に関する審議

大垣駅周辺地区都市再生整備計画



(1) 審議事項～事後評価手続き等～

① 方法書について

- 事後評価を実施する方法について方法書の確認

② 成果の評価について

- 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況
- まちづくりの目標を定量化した指標の数値目標の達成状況の確認

③ 実施過程の評価について

- 事業への住民参加やまちづくり体制の構築などの確認

④ 効果発現要因の整理について

- ②成果の評価および③実施過程の評価結果に至った要因の整理

⑤ 事後評価原案の公表の妥当性について

- 事後評価原案の公表方法及び寄せられた意見の確認



(1)ー① 方法書について

方法書とは

各評価項目について、いつ頃、どのような作業を行うことによって評価を実施するか、その方法をあらかじめ設定する評価の「実施計画書」のこと。

方法書の記載事項

- ① 成果の評価
- ② 実施過程の評価
- ③ 効果発現要因の整理
- ④ 今後のまちづくり方策の作成
- ⑤ 事後評価原案等の公表
- ⑥ 評価委員会の審議
- ⑦ その他の機会における有識者からの意見聴取の予定
- ⑧ 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況



(1)－② 成果の評価について

<計画の変更履歴>

計画	策定(変更)年月日	変更箇所	変更内容
当初計画	平成26年3月27日	—	—
第1回変更	平成27年1月6日	計画全体	交付期間の延長(H26～28→H26～29)
		(仮称)大垣駅南街区広場整備	実施時期の変更、事業費の増
		駅西自転車駐車場(2期)整備	実施時期の変更
		事業効果分析調査	実施時期の変更
第2回変更	平成27年12月16日	まちなか歴史回廊整備	事業規模の減、事業費の減
		大垣駅南街区広場整備	事業箇所名の変更
		大垣駅南口エスカレーター整備事業	事業の追加
第3回変更	平成28年11月1日	まちなか道路再生事業	実施時期の変更、事業規模の減、事業費の減
		むろみ公園	事業費の減
		馬場町公園	実施時期の変更 ※H28国補正交付決定前に変更
		大垣駅南街区広場整備	事業費の減
		水門川橋梁修景整備	実施時期の変更 ※H28国補正交付決定前に変更
第4回変更	平成29年11月1日	公園(見取第1、むろみ、室町)	事業内容の一部変更
		馬場町公園	実施時期の変更、事業内容の一部変更
		大垣駅南街区広場整備	事業費の増
		水門川橋梁修景整備	実施時期の変更
		大垣駅南口エスカレーター整備事業	事業費の減

(1)ー② 成果の評価について

＜目標達成度及び1年以内の達成見込みの評価の基準＞

① 目標達成度

評価の基準	達成度
評価値が目標値を上回った場合。	○
評価値が目標値に達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合。	△
評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合。	×

② 1年以内の達成見込みの評価の基準

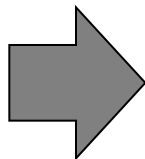
種別	評価の基準	達成見込みの有無
達成見込み	現時点で数値目標は達成していない(達成度が△又は×)が、合理的かつ客観的な理由により、1年以内に目標が達成される見込みがある場合。	「あり」
未達成	上記以外。	「なし」



指標1：駅周辺利便性満足度

周辺地区の来訪者に対するアンケート調査で、「駅周辺は利用しやすいと思いますか。」の問に対する「そう思う」・「少し思う」の回答割合の合計。

平成25年度
従前値
18%



平成29年度	目標達成度
目標値 40%	○
評価値(見込み値) 42%	

【目標達成度の理由】

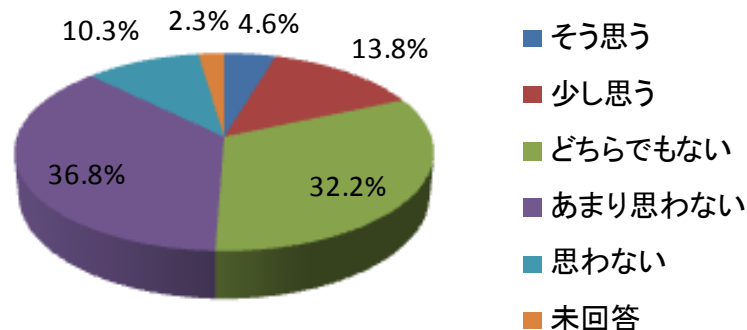
評価値(見込み値)が目標値を上回り、数値目標を達成しているため、目標達成度は「○」とした。



指標1：駅周辺利便性満足度

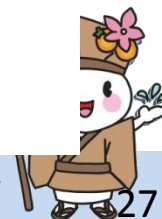
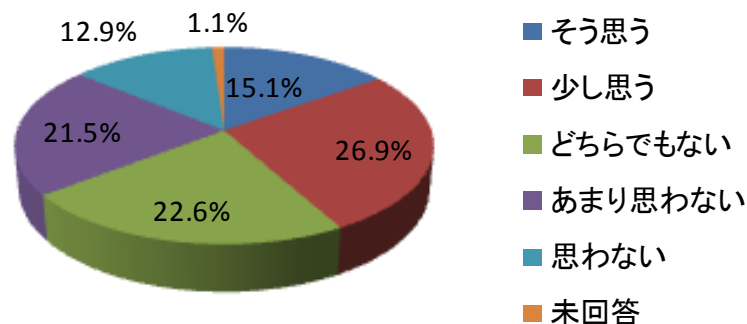
H25(従前値)

項目	票数	割合	「そう思う」 「少し思う」の合計
そう思う	4	4.6%	
少し思う	12	13.8%	
どちらでもない	28	32.2%	
あまり思わない	32	36.8%	
思わない	9	10.3%	
未回答	2	2.3%	
合計	87	100.0%	



H29(評価値)

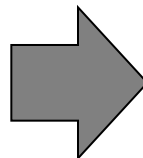
項目	票数	割合	「そう思う」 「少し思う」の合計
そう思う	14	15.1%	
少し思う	25	26.9%	
どちらでもない	21	22.6%	
あまり思わない	20	21.5%	
思わない	12	12.9%	
未回答	1	1.1%	
合計	93	100.0%	



指標2：歩行者及び自転車通行量

地区内8箇所における休日の歩行者及び自転車の通行量。

平成25年度
従前値
9,747人／日



平成29年度	目標達成度
目標値 9,880人／日	○
評価値(見込み値) 10,250人／日	

【目標達成度の理由】

評価値(見込み値)が目標値を上回り、数値目標を達成しているため、目標達成度は「○」とした。



指標2：歩行者及び自転車通行量



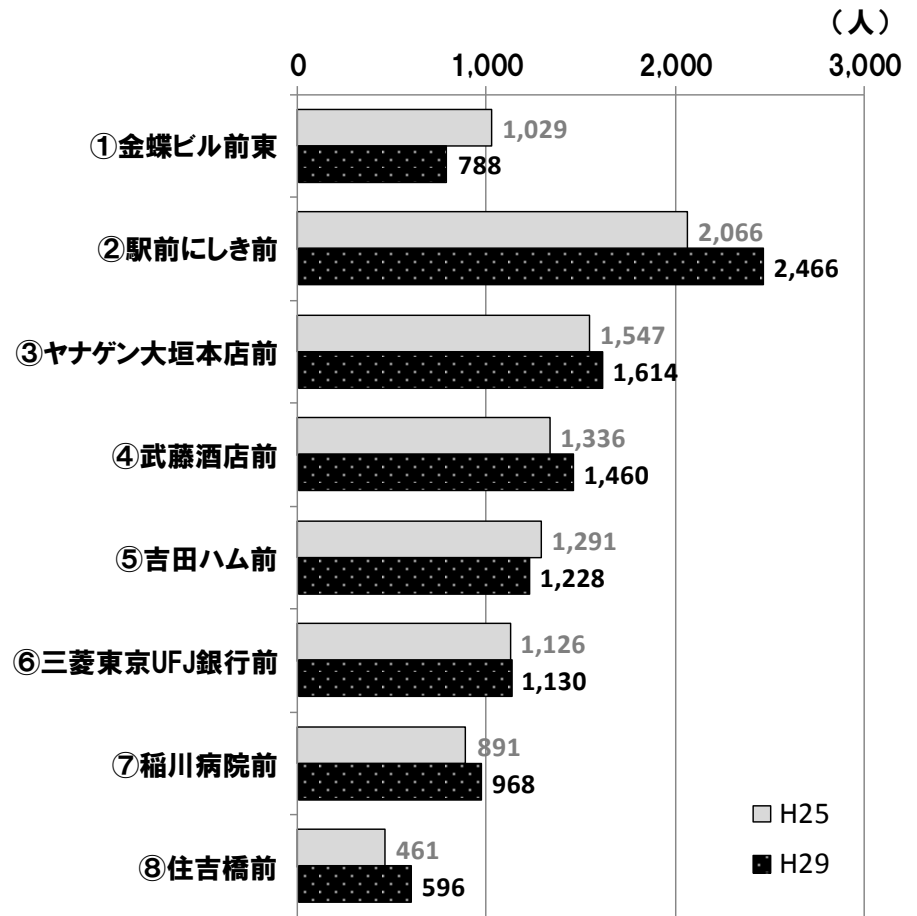
交通量調査箇所(8箇所)

- ①金蝶ビル前東
- ②駅前にしき前
- ③ヤナゲン大垣本店前
- ④武藤酒店前
- ⑤吉田ハム前
- ⑥三菱東京UFJ銀行前
- ⑦稲川病院前
- ⑧住吉橋前



指標2：歩行者及び自転車通行量

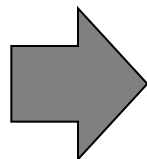
	H25 (従前値)	H29 (評価値)	増減
①金蝶ビル前東	1,029	788	-241
②駅前にしき前	2,066	2,466	+400
③ヤナゲン大垣本店前	1,547	1,614	+67
④武藤酒店前	1,336	1,460	+124
⑤吉田ハム前	1,291	1,228	-63
⑥三菱東京UFJ銀行前	1,126	1,130	+4
⑦稲川病院前	891	968	+77
⑧住吉橋前	461	596	+135
合計	9,747	10,250	+503

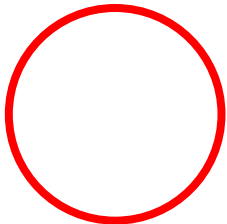


指標3：地区内公園の利便性満足度

周辺地区の来訪者に対するアンケート調査で、「公園は利用しやすいと思いますか。」の問に対する「そう思う」・「少し思う」の回答割合の合計。

平成25年度
従前値
24%



平成29年度	目標達成度
目標値 40%	
評価値(確定値) 46%	

【目標達成度の理由】

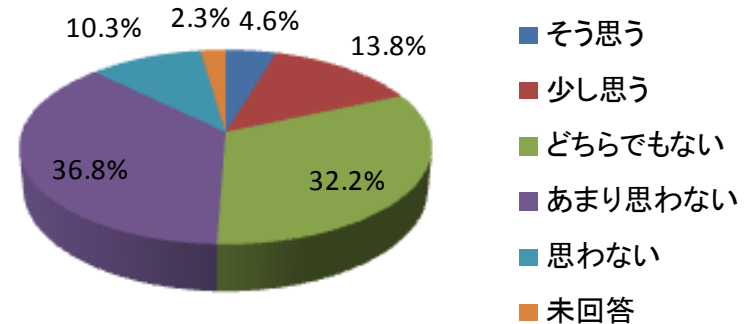
評価値(確定値)が目標値を上回り、数値目標を達成しているため、目標達成度は「○」とした。



指標3：地区内公園の利便性満足度

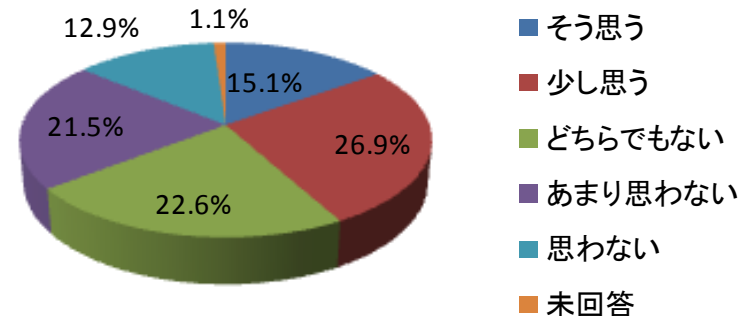
H25(従前値)

項目	票数	割合	「そう思う」 「少し思う」の合計
そう思う	8	9.2%	24%
少し思う	13	14.9%	
どちらでもない	44	50.6%	
あまり思わない	17	19.5%	
思わない	3	3.4%	
未回答	2	2.3%	
合計	87	100.0%	



H29(評価値)

項目	票数	割合	「そう思う」 「少し思う」の合計
そう思う	16	17.2%	46%
少し思う	27	29.0%	
どちらでもない	32	34.4%	
あまり思わない	17	18.3%	
思わない	0	0.0%	
未回答	1	1.1%	
合計	93	100.0%	



(1)ー③ 実施過程の評価について

住民参加の実施やまちづくり体制の構築など、計画の実施過程を検証。

区分	実施内容 (計画に記載した内容)	実施状況
モニタリング (計画期間中の 状況確認)	記載なし	—
住民参加	・市民を対象としたまちづくり関連の講演会及びワークショップを実施。	・講演会及びワークショップを実施(H26.2)し、市民意向を確認した上で計画を策定。
持続的なまちづくり 体制の構築	・当該地区の来訪者等に対するアンケート調査の実施。 ・アンケート調査の結果を今後のまちづくり方策等に反映。	・当該地区の来訪者等に対するアンケート調査を実施(H29.9～11)。



(1)ー④ 効果発現要因の整理について

庁内で組織した検討会議において、目標の達成・未達成の要因を分析。

区分	記号	意味
達成した指標	◎	事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
	○	事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
	△	事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
数値目標が達成できなかつた中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。		
未達成の指標	×	事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
	××	事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
	—	事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

(1)－④ 効果発現要因の整理について

	事業名		指標1	指標2	指標3
			駅周辺利便性 満足度	歩行者及び 自転車通行量	地区内公園の 利便性満足度
			目標:達成	目標:達成	目標:達成
基幹事業	道路	まちなか歴史回廊整備	◎	◎	—
		まちなか道路再生事業	◎	◎	—
	公園	見取第1公園	○	—	◎
		むろみ公園	○	—	◎
		馬場町公園	○	—	◎
		室町公園	○	—	◎
	地域生活基盤施設	大垣駅南街区広場整備			—
		駅西自転車駐車場(2期)整備	◎	◎	—
	高質空間形成施設	水門川橋梁修景整備	○	○	—
	提案事業	地域創造支援事業	大垣駅南口エスカレーター一整備事業	◎	◎



(1)－④ 効果発現要因の整理について

	事業名	指標1	指標2	指標3
		駅周辺利便性 満足度	歩行者及び 自転車通行量	地区内公園の 利便性満足度
		目標:達成	目標:達成	目標:達成
関連事業	大垣駅南街区市街地再開発事業	◎	◎	—
	まちなか住宅取得支援事業	◎	◎	—
	大垣駅南街区道水路再整備事業	○	○	—
	子育て支援施設整備事業	○	○	—

(1)－④ 効果発現要因の整理について

指標名	目標達成度	総合所見
指標1 駅周辺利便性満足度	○	まちなかの道路や自転車駐車場、大垣駅南口エスカレーターの整備により、駅周辺の安全で快適な利用環境が形成され、来訪者や周辺住民の満足度の向上につながった。
指標2 歩行者及び自転車通行量	○	まちなか歴史回廊整備による風情ある都市景観の形成や自転車駐車場の整備等の実施により、来訪者が増加し、休日の歩行者及び自転車通行量の増加につながった。
指標3 地区内公園の利便性満足度	○	広場整備や遊戯施設の更新など、利用者のニーズや景観に配慮した計画的な整備の実施により、利用者が安らぎ・楽しめる空間が形成され、利用者の満足度の向上につながった。

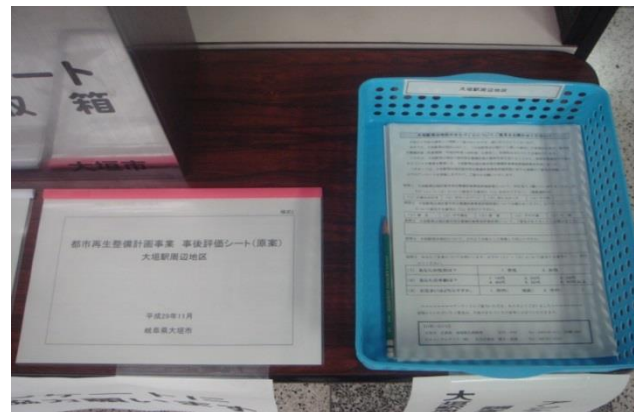


(1)ー⑤ 事後評価原案の公表の妥当性について

公表期間	公表方法
平成29年11月13日～26日の2週間	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ ・広報おおがき11月1日号で公表について案内 ・市役所内での閲覧

公表により寄せられた意見

- ・OKBストリートをもっと綺麗にしてほしい。
- ・駅の南口エスカレーターができて楽になった。
- ・商店街がもっと元気になってほしい。
- ・以前に比べると綺麗な街になったと思う。



(2) 審議事項～今後のまちづくりについて～

① 今後のまちづくり方策について

- 庁内会議で検討した、まちの課題の変化や今後のまちづくり方策について確認

② フォローアップについて

- フォローアップの実施について確認



(2)ー① 今後のまちづくり方策について

<まちの課題の変化>

事業前の課題	達成されたこと	残された課題	事業によって発生した新たな課題
① 中心市街地の拠点性の低下	まちなかの道路や自転車駐車場の整備などにより、駅周辺の利便性や地区の回遊性が向上し、中心市街地の拠点性の低下が抑制された。	・特になし	
② まちの賑わいの再生	公園や水門川修景整備などにより、中心地における交流と憩いの場が創出された。	・特になし	・特になし
	駅周辺の利便性の向上に加え、歴史的・文化的な地域資源と一体となった整備を実施することで、地区内のイベント等他事業と相まって、来訪者の誘客が図られ、来訪者が増加した。	・特になし	

今後の方策

効果を持続させるために行う方策

改善策



(2)ー① 今後のまちづくり方策について

＜効果を持続させるための方策＞

効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
<p>① 中心市街地の賑わい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的景観等との調和を図りながら、中心市街地内の整備を引き続き推進し、地区内の回遊性や魅力の更なる向上を図る。 ・商店街の空き店舗に出店する事業者等への支援をすることで、商業の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・郭町東西街区市街地再開発の推進 ・中心市街地リフレッシュサポート事業
<p>② 交流と憩いの場の維持管理・創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全かつ安心な利用環境を維持しながら、引き続き利用者のニーズに合わせた公園等の整備を進める。 ・中心市街地内の新たな交流と憩いの場を創出し、地域コミュニティの活性化につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な公園の整備 ・郭町東西街区市街地再開発の推進
<p>③ 観光客の持続的な誘客</p>	<p>奥の細道むすびの地や大垣まつりなどの歴史・文化等の資源を生かし、引き続き効果的なPRを実施し、観光客の持続的な誘客を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光宣伝啓発の推進 ・クールおおがきの推進



(2)ー② フォローアップについて

評価値が「見込み値」の指標や目標達成度が△又は×の指標について、フォローアップの実施の可否を審議。

該当指標	事務局(案)
<p>指標1: 駅周辺利便性満足度 指標2: 歩行者及び自転車 通行量</p>	<p>指標1及び2については、指標に関連する計画事業の全てが完了していないため、評価値を「見込み値」としているが、指標3も含めた全ての指標が達成しており、計画事業の実施により、十分な効果を得られている。また、事後評価におけるフォローアップの実施について、国の取扱いが、平成28年度より推奨事項に変更となった。 以上を踏まえ、フォローアップは実施しないこととする。</p>





4 中山道赤坂宿周辺地区 都市再生整備計画の概要



(1) 計画策定時におけるまちの課題

① 歴史的資源・景観を生かしたまちづくり

- ・地域住民や来訪者の交流の場の創出

⇒まちづくりに関する団体は多数存在するが、地域活動の拠点等の交流の場が不足していることから、団体同士の交流が図られておらず、ひいては地域住民の郷土愛の醸成につながっていない。

- ・来訪者の更なる増加

⇒歴史的資源や景観に恵まれた地区であるが、観光客にとって魅力ある地域資源としての整備が不足している。

② 回遊性の向上

- ・来訪者の更なる増加

⇒歴史的資源や景観に恵まれた地区であるが、観光客にとって魅力ある地域資源としての整備が不足している。



(2) まちづくりの目標

目標

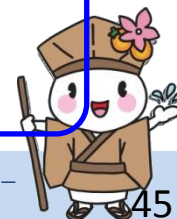
大目標: 自然や歴史、文化などを生かした宿場町周辺の憩いと賑わいの創出

目標1: 歴史的資源等を活用した交流と憩いの場づくり

目標2: 特色ある地域歴史景観の創出による観光客の誘導促進

目標を定量化(事業効果を測定)する指標

- ① 交流センターの利用客数
H25年度 0人/年度 → H29:1,000人/年度
- ② 中山道赤坂宿周辺来訪者数
H25:97,575人/年 → H29:100,000人/年
- ③ 中山道赤坂宿周辺地区来訪者満足度
H25:59% → H29:71%

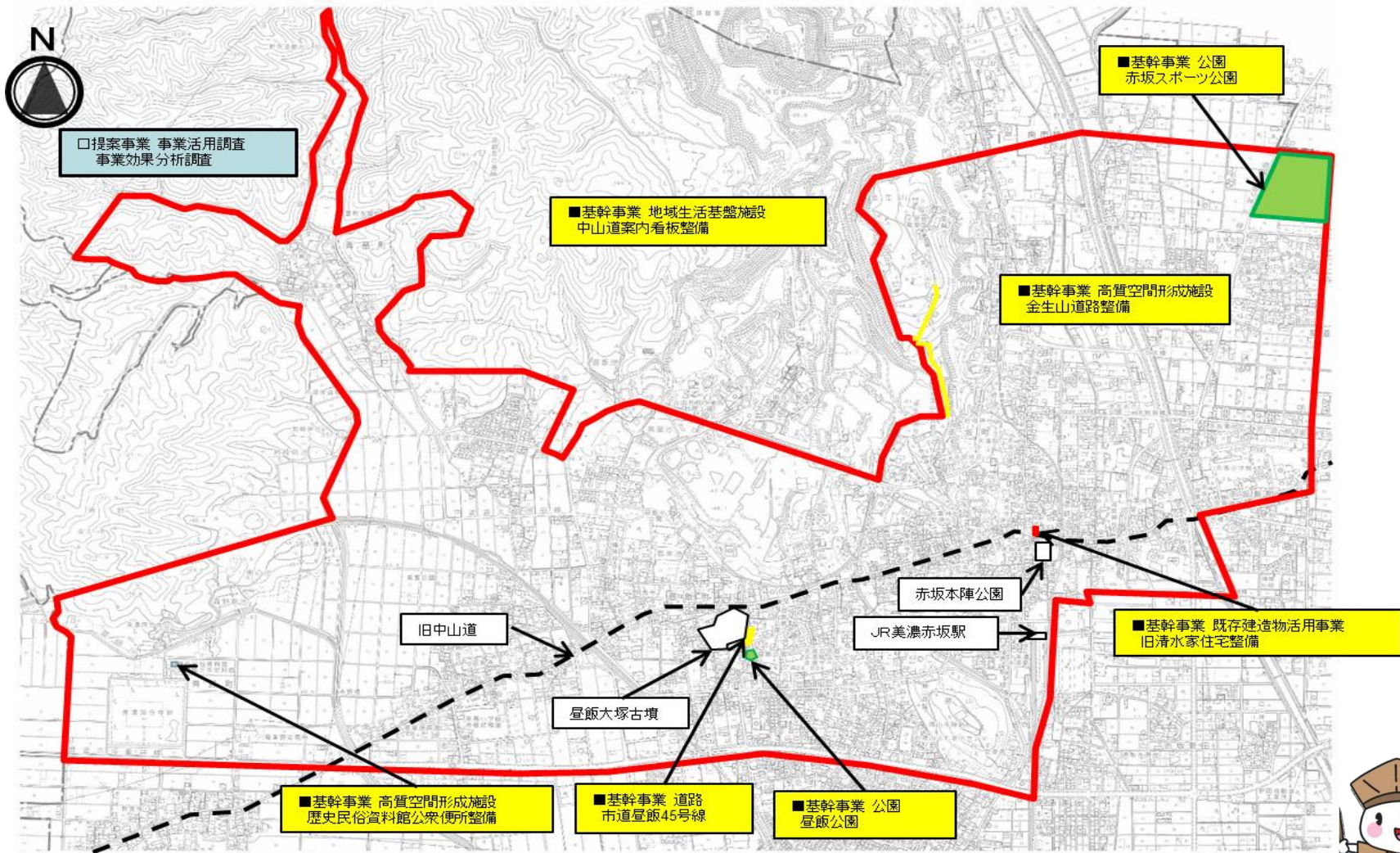


(3) 実施事業一覧

事業区分		事業名	実施年度	補助対象事業費 (百万円)
基幹事業	道路	市道昼飯45号線	H27年度	6
	公園	昼飯公園	H26年度	8
		赤坂スポーツ公園	H26～29年度	50
	地域生活基盤施設	中山道案内看板整備	H29年度	3
	高質空間形成施設	歴史民俗資料館公衆便所整備	H26年度	20
		金生山道路整備	H26～27年度	11
既存建造物活用事業	旧清水家住宅整備	H26、H28～29年度	77	
提案事業	事業活用調査	事業効果分析調査	H29年度	2
合 計				177



(4) 事業の実施箇所



(5)ー① 個別事業の概要

基幹事業(道路):市道昼飯45号線

<事業内容>

L=81m

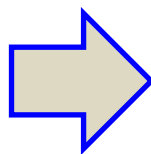
側溝工、集水枡工、横断暗渠工

<事業スケジュール>

平成27年度



【整備前】



【整備後】



(5)－② 個別事業の概要

基幹事業(公園): 昼飯公園

<事業内容>

A=1,089m²

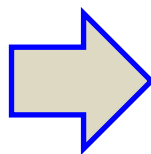
広場整備(砂舗装)、トイレ設置1基、
水飲み場1基

<事業スケジュール>

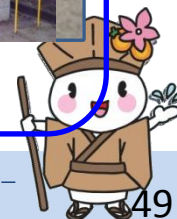
平成26年度



【整備前】



【整備後】



(5)ー③ 個別事業の概要

基幹事業(公園): 赤坂スポーツ公園

<事業内容>

A=44,000m²

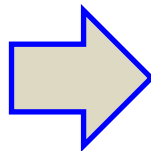
フジ棚改修(植栽等)、園路整備

<事業スケジュール>

平成26年度～29年度



【整備前】



【整備後】



(5)－④ 個別事業の概要

基幹事業(地域生活基盤施設): 中山道案内看板整備

<事業内容>

案内看板設置 10基

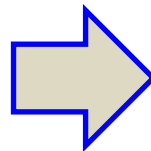
<事業スケジュール>

平成29年度

新設

- ※ 平成30年1月工事予定。
- ※ 実施箇所検討中のため、写真データなし。

【整備前】



【整備後】



(5)ー⑤ 個別事業の概要

基幹事業(高質空間形成施設): 歴史民俗資料館公衆便所整備

<事業内容>

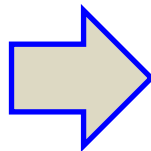
トイレ改修(男小2・洋1、女洋3、
多目的1)

<事業スケジュール>

平成26年度



【整備前】



【整備後】



(5)ー⑥ 個別事業の概要

基幹事業(高質空間形成施設):金生山道路整備

<事業内容>

L=761m

景観舗装工、景観ガードレール

<事業スケジュール>

平成26年度～27年度



【整備前】



【整備後】



(5)ー⑦ 個別事業の概要

基幹事業(既存建造物活用事業) : 旧清水家住宅整備

<事業内容>

A=452.5m²

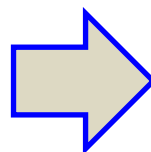
主屋改修、水屋・トイレの新設、
土蔵・庭・木塀の整備

<事業スケジュール>

平成26年度、28年度～29年度



【整備前】



【整備後】



(5)－⑧ 個別事業の概要

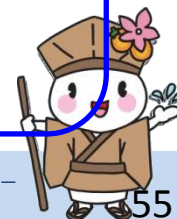
提案事業(事業活用調査) : 事業効果分析調査

<事業内容>

事業効果を調査・分析し、都市再生整備計画の事後評価に活用する。

<事業スケジュール>

平成29年度





5 事後評価に関する審議

中山道赤坂宿周辺地区都市再生整備計画



(1) 審議事項～事後評価手続き等～

① 方法書について

- 事後評価を実施する方法について方法書の確認

② 成果の評価について

- 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況
- まちづくりの目標を定量化した指標の数値目標の達成状況の確認

③ 実施過程の評価について

- 事業への住民参加やまちづくり体制の構築などの確認

④ 効果発現要因の整理について

- ②成果の評価および③実施過程の評価結果に至った要因の整理

⑤ 事後評価原案の公表の妥当性について

- 事後評価原案の公表方法及び寄せられた意見の確認



(1)ー① 方法書について

方法書とは

各評価項目について、いつ頃、どのような作業を行うことによって評価を実施するか、その方法をあらかじめ設定する評価の「実施計画書」のこと。

方法書の記載事項

- ① 成果の評価
- ② 実施過程の評価
- ③ 効果発現要因の整理
- ④ 今後のまちづくり方策の作成
- ⑤ 事後評価原案等の公表
- ⑥ 評価委員会の審議
- ⑦ その他の機会における有識者からの意見聴取の予定
- ⑧ 事後評価に必要な経費に関わる予算措置の状況



(1)－② 成果の評価について

<計画の変更履歴>

計 画	策定(変更)年月日	変更箇所	変更内容
当初計画	平成26年3月24日	—	—
第1回変更	平成27年1月6日	市道屋飯45号線	実施時期の変更
		文化財看板設置事業	実施時期の変更
		中山道案内看板整備	実施時期の変更、事業費の増
第2回変更	平成27年12月4日	計画全体	交付期間の延長(H26～28→H26～29)
		赤坂スポーツ公園	実施時期の変更
		文化財看板設置事業	実施時期の変更
		中山道案内看板整備	実施時期の変更
		歴史民俗資料館公衆便所整備	事業費の増
		化石館周辺環境整備	実施時期の変更
		旧清水家住宅整備	実施時期の変更
事業効果分析調査	実施時期の変更		
第3回変更	平成28年12月1日	市道屋飯45号線	事業規模の増、事業費の増
		文化財看板設置事業	事業の削除
		化石館周辺環境整備	事業の削除
		金生山道路整備	実施時期の変更、事業規模の減、事業費の減
		旧清水家住宅整備	事業費の減
		事業効果分析調査	事業費の減
第4回変更	平成29年11月1日	屋飯公園	事業内容の一部変更
		赤坂スポーツ公園	事業内容の一部変更
		金生山道路整備	事業規模の増

(1)－② 成果の評価について

＜目標達成度及び1年以内の達成見込みの評価の基準＞

① 目標達成度

評価の基準	達成度
評価値が目標値を上回った場合。	○
評価値が目標値に達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合。	△
評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合。	×

② 1年以内の達成見込みの評価の基準

種別	評価の基準	達成見込みの有無
達成見込み	現時点で数値目標は達成していない(達成度が△又は×)が、合理的かつ客観的な理由により、1年以内に目標が達成される見込みがある場合。	「あり」
未達成	上記以外。	「なし」



指標1：交流センターの利用客数

旧清水家住宅の整備後の利用客数。

平成25年度 従前値 0人／年度	➔	平成29年度 目標値 1,000人／年度	目標達成度
		評価値(見込み値) 4,219人／年度	○

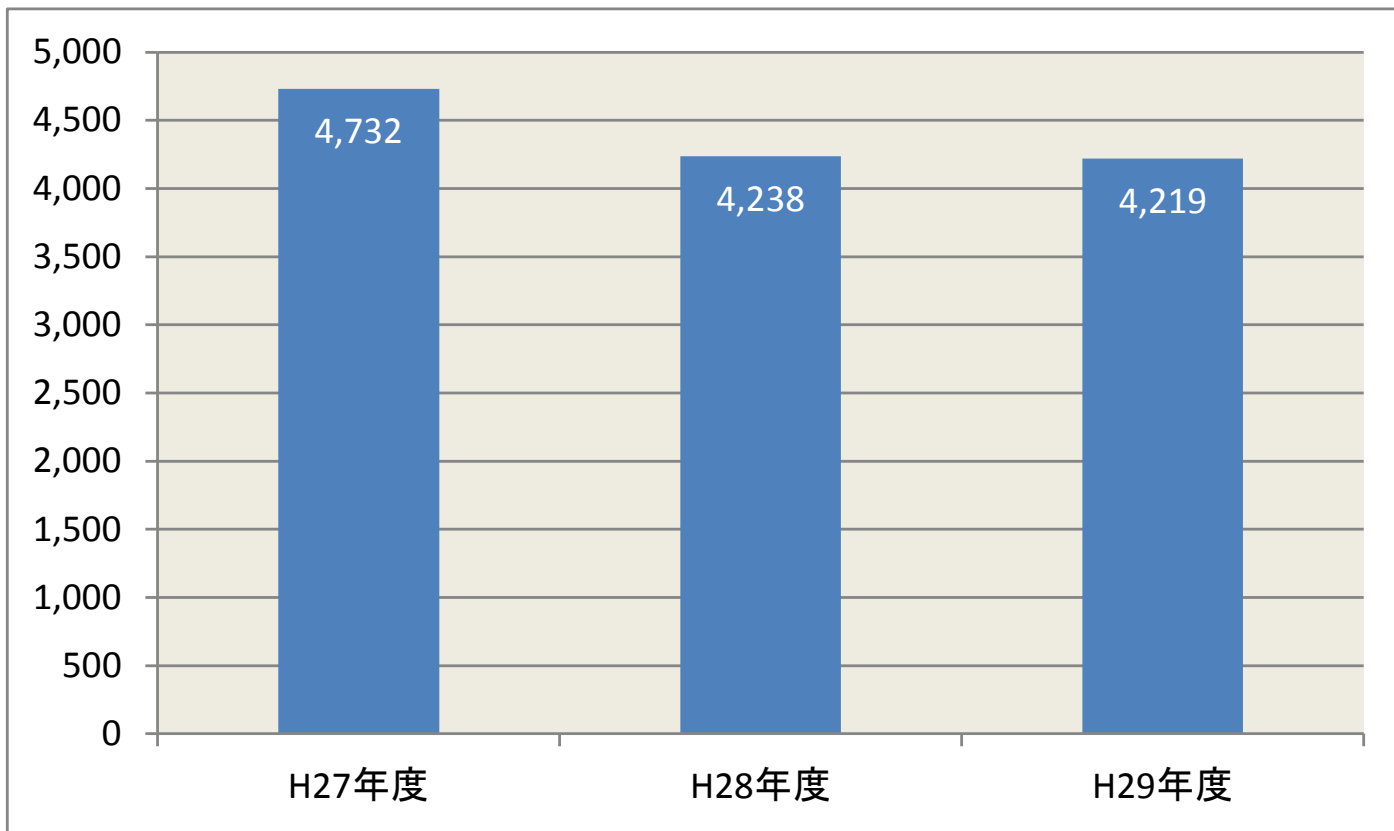
【目標達成度の理由】

評価値(見込み値)が目標値を上回り、数値目標を達成しているため、目標達成度は「○」とした。



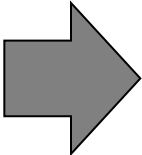
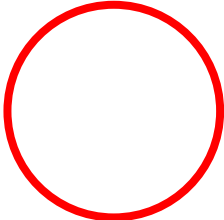
指標1：交流センターの利用客数

(単位:人)



指標2：中山道赤坂宿周辺来訪者数

H29年度における岐阜県観光入込客統計調査の結果及び計画地区内の観光施設の年間利用者数の実績の合計。

<p>平成25年度</p> <p>従前値</p> <p>97,575人／年</p>		<p>平成29年度</p> <p>目標値</p> <p>100,000人／年</p>	<p>目標達成度</p> 
		<p>評価値(見込み値)</p> <p>102,139人／年</p>	

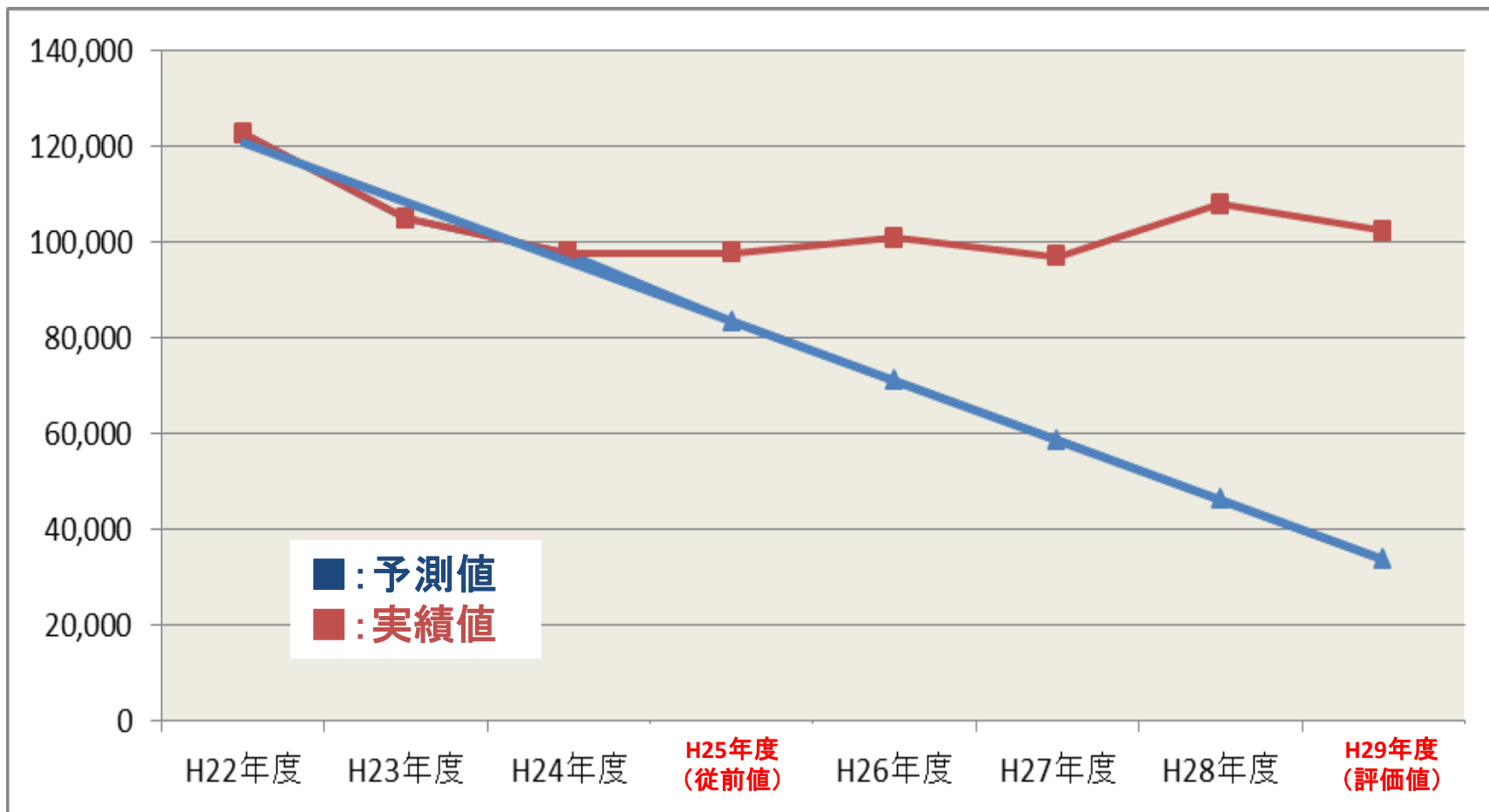
【目標達成度の理由】

評価値(見込み値)が目標値を上回り、数値目標を達成しているため、目標達成度は「○」とした。



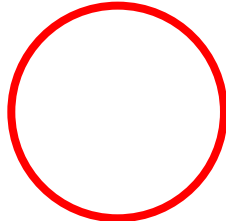
指標2：中山道赤坂宿周辺来訪者数

(単位：人)



指標3：中山道赤坂宿周辺地区来訪者満足度

周辺地区の来訪者に対するアンケート調査で、「この地区を訪れて良かったと思いますか。」の問に対する「そう思う」・「少し思う」の回答割合の合計。

平成25年度 従前値 59%	➔	平成29年度 目標値 71%	目標達成度
		評価値(見込み値) 76%	

【目標達成度の理由】

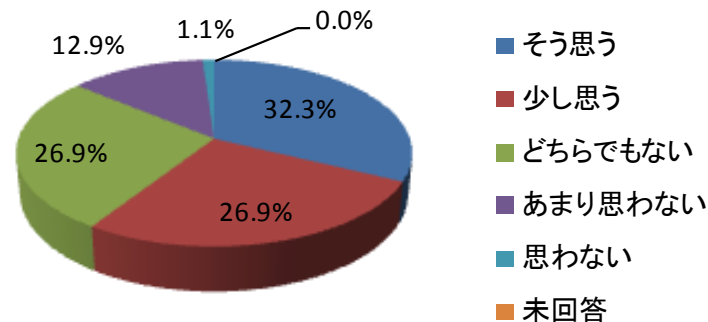
評価値(見込み値)が目標値を上回り、数値目標を達成しているため、目標達成度は「○」とした。



指標3：中山道赤坂宿周辺地区来訪者満足度

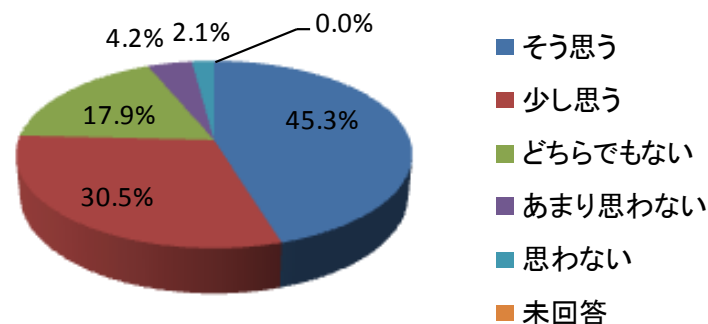
H25(従前値)

項目	票数	割合	「そう思う」 「少し思う」の合計
そう思う	30	32.3%	
少し思う	25	26.9%	
どちらでもない	25	26.9%	
あまり思わない	12	12.9%	
思わない	1	1.1%	
未回答	0	0.0%	
合計	93	100.0%	



H29(評価値)

項目	票数	割合	「そう思う」 「少し思う」の合計
そう思う	43	45.3%	
少し思う	29	30.5%	
どちらでもない	17	17.9%	
あまり思わない	4	4.2%	
思わない	2	2.1%	
未回答	0	0.0%	
合計	95	100.0%	



(1)ー③ 実施過程の評価について

住民参加の実施やまちづくり体制の構築など、計画の実施過程を検証。

区分	実施内容 (計画に記載した内容)	実施状況
モニタリング (計画期間中の 状況確認)	記載なし	—
住民参加	・市民を対象としたまちづくり関連の講演会及びワークショップを実施。	・講演会及びワークショップを実施(H26.2)し、市民意向を確認した上で計画を策定。
持続的なまちづくり 体制の構築	・当該地区の来訪者等に対するアンケート調査の実施。 ・アンケート調査の結果を今後のまちづくり施策等に反映。	・当該地区の来訪者等に対するアンケート調査を実施(H29.10～11)。



(1)－④ 効果発現要因の整理について

庁内で組織した検討会議において、目標の達成・未達成の要因を分析。

区分	記号	意味
達成した指標	◎	事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
	○	事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
	△	事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。		
未達成の指標	×	事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
	××	事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
	共通	—



(1)－④ 効果発現要因の整理について

	事業名		指標1	指標2	指標3
			交流センターの利用客数	中山道赤坂宿 周辺来訪者数	中山道赤坂宿 周辺地区 来訪者満足度
			目標:達成	目標:達成	目標:達成
基幹事業	道路	市道昼飯45号線	—	◎	◎
	公園	昼飯公園	—	◎	◎
		赤坂スポーツ公園	—	◎	◎
	地域生活基盤施設	中山道案内看板整備			
	高質空間形成施設	歴史民俗資料館公衆便所整備	—	◎	◎
		金生山道路整備	—	◎	◎
	既存建造物活用事業	旧清水家住宅整備	◎	◎	◎



(1)－④ 効果発現要因の整理について

指標名	目標達成度	総合所見
指標1 交流センターの利用客数	○	景観や利用環境に配慮した、歴史的建造物である旧清水家住宅の計画的な施設整備により、当初想定より多くの利用客の確保につながった。
指標2 中山道赤坂宿周辺来訪者数	○	地区内の公園や施設、景観に配慮した道路の整備により、地区内のイベント等他事業と相まって、来訪者の誘客が図られ、来訪者数の増加につながった。
指標3 中山道赤坂宿周辺地区来訪者満足度	○	豊かな自然や歴史・文化を生かした道路や施設の整備により、地区内の魅力が高まり、来訪者や周辺住民の満足度の向上につながった。

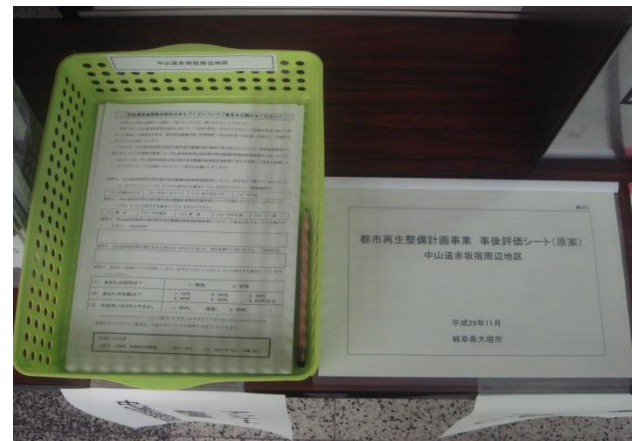
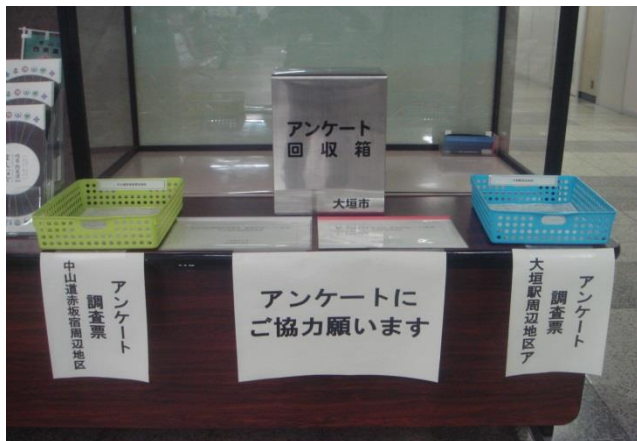


(1)ー⑤ 事後評価原案の公表の妥当性について

公表期間	公表方法
平成29年11月13日～26日の2週間	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ ・広報おおがき11月1日号で公表について案内 ・市役所内での閲覧

公表により寄せられた意見

- ・計画的にまちづくりが行われていることがよくわかりました。
- ・歴史が息吹く良いところなので、知名度をもっとあげてほしい。



(2) 審議事項～今後のまちづくりについて～

① 今後のまちづくり方策について

- 庁内会議で検討した、まちの課題の変化や今後のまちづくり方策について確認

② フォローアップについて

- フォローアップの実施について確認



(2)ー① 今後のまちづくり方策について

<まちの課題の変化>

事業前の課題	達成されたこと	残された課題	事業によって発生した新たな課題
① 歴史的資源・ 景観を生かした まちづくり	旧清水家住宅や公園の 整備により、地域住民や 来訪者の交流の場が創 出された。	・特になし	
② 回遊性の向上	景観に配慮した道路や 施設の整備により、地区 内の統一性のある空間 が形成され、回遊性が 向上した。	・地区の認 知度のさら なる向上	・特になし

今後の方策

効果を持続させるために行う方策

改善策



(2)ー① 今後のまちづくり方策について

＜効果を持続させるための方策＞

効果の持続を図る事項

① 地域コミュニティの活性化

② 観光客の誘客促進

効果を持続させるための基本的な考え方

地区内の文化施設や公園の利用促進を通じ、地域コミュニティのさらなる活性化につなげるとともに、郷土愛の醸成を図る。

豊かな自然や歴史的・文化的遺産が多く点在する地域資源を生かしたまちづくりを引き続き推進し、観光地としての魅力を向上させるとともに、地区のPR活動を展開し、来訪者のさらなる増加を図る。

想定される事業

- ・歴史的・文化的遺産の保全・活用
- ・身近な公園の整備

- ・歴史的・文化的遺産の保全・活用
- ・クールおおがきの推進



(2)ー① 今後のまちづくり方策について

<改善策>

改善する事項

① 観光客の誘客促進

改善策の基本的な考え方

豊かな自然や歴史的・文化的遺産が多く点在する地域資源を生かしたまちづくりを引き続き推進し、観光地としての魅力を向上させるとともに、地区のPR活動を展開し、来訪者のさらなる増加を図る。

想定される事業

- ・歴史的・文化的遺産の保全・活用
- ・クールおおがきの推進



(2)ー② フォローアップについて

評価値が「見込み値」の指標や目標達成度が△又は×の指標について、フォローアップの実施の可否を審議。

該当指標	事務局(案)
指標1: 交流センターの利用客数 指標2: 中山道赤坂宿周辺来訪者数 指標3: 中山道赤坂宿周辺地区来訪者満足度	<p>指標に関連する計画事業の全てが完了していないため、全ての指標の評価値を「見込み値」としているが、全ての指標が達成しており、計画事業の実施により、十分な効果を得られている。また、事後評価におけるフォローアップの実施について、国の取扱いが、平成28年度より推奨事項に変更となった。</p> <p>以上を踏まえ、フォローアップは実施しないこととする。</p>

